

# 報告

## 「平成30年度北海道有床診療所協議会第1回総会」ならびに「第31回全国有床診療所連絡協議会総会山口大会」

北海道有床診療所協議会 会長 鈴木 伸和  
北海道有床診療所協議会 監事 伊藤 利道  
(北海道医師会 常任理事/地域医療部長)

「平成30年度北海道有床診療所協議会第1回総会」[7月21日(土)、札幌市]ならびに「第31回全国有床診療所連絡協議会総会山口大会」[7月28日(土)・29日(日)、山口市]について報告する。

### 【平成30年度北海道有床診療所協議会第1回総会[7月21日(土)、札幌市]】

標記総会では、平成29年度の活動・会計収支決算の報告と平成30年度活動計画(案)ならびに会計収支予算(案)について協議を行い、承認された。

平成30年度の本会の活動計画は次のとおり。

1. 組織強化
2. 会員への迅速な諸情報の提供
3. 役員会の開催
4. 総会の開催
5. 研修会(講演会)の開催
6. 北海道医師会との連携
7. 全国有床診療所連絡協議会との連携
8. 日本医師会との連携
9. その他必要な事業

引き続き、有床診療所を取り巻く環境は厳しく、施設数も年々減少の一途を辿る中、本会の会員数も減少傾向にあるため、未加入者に対する本会活動の周知や研修会等の充実を図り、会員数の増強を図ることとした。

なお、第2回総会は平成31年3月のいずれかの土曜日で開催する予定。



【北海道有床診療所協議会 鈴木伸和会長】

### 【第31回全国有床診療所連絡協議会総会山口大会[7月28日(土)・29日(日)、山口市]】

標記総会では、山口県医師会・河村康明会長が総会会長となり「有床診療所に明るい未来を!~国策に呼応する有床診療所の必要性~」をメインテーマに山口市において開催された。参加者は241名。1日目は、平成29年度の事業ならびに会計収支決算の報告の後、平成30年度新執行部の紹介と平成30年度の事業計画(案)ならびに収支予算(案)について協議が行われ、承認された。

なお、平成30年度の事業計画は次のとおり。

1. 地域住民のニーズに応えるべく、医学・医療の研鑽に努めると同時に、「かかりつけ医」として総合的な初期医療を実践し、医療の質の向上と内容の充実を図る。
2. 有床診療所の経営安定化のための方策を講じる。
3. 有床診療所・地域包括ケアモデルのかかりつけ医機能を推進すべく、介護事業(ショートステイ・介護医療院等)への参入を支援する。有床診療所・専門医療提供モデルの活性化を図るため、各専門医会との連携を進める。
4. 有床診療所における災害の発生防止と対応に十分な対策を講じる。(スプリンクラー補助金の活用促進を図る)
5. 次世代を担う「若手医師の会」の活動を活発化し、支援する。
6. 広く全国の地域住民への理解を深めるため、「有床診療所の日」記念行事を継続し、積極的な広報活動を行う。

その後、厚労省保険局医療課・迫井正深課長から「平成30年度診療報酬改定と有床診療所」、株式会社M&Cパートナーコンサルティング・酒井麻由美取締役から「2018年度診療報酬・介護報酬改定の解説・対応」、今村聡日医副会長から「平成29年度税制改正:認定医療法人制度」をテーマに講演が行われた。また、平成30年度より届出による診療所の病床設置が可能となり、新規開設のハードルが緩和されたことから、有床診療所は、

1. 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能
2. 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
3. 緊急時に対応する機能
4. 在宅医療の拠点としての機能
5. 終末期医療を担う機能

等々、重要な機能を担う貴重な地域医療資源であるとし、本協議会・鹿子生健一会長から横倉義武日医会長に要望書が手交された。

- ①有床診療所の機能強化のための診療報酬引上げ
- ②施設継承時の相続問題の解消
- ③看護職員を安定して確保できる仕組み



【第31回全国有床診療所連絡協議会総会の様子】

その後、別会場にて懇親会が行われ、横倉義武日医会長、弘中勝久山口県副知事など多数の来賓より祝辞が述べられ、山口県の特産物や地元を代表する芸能の披露もあり、盛大であった。



【懇親会の様子】

2日目は、はじめに横倉義武日医会長から「日本医師会が進めるべき医療政策」と題した特別講演が行われた。その後、メインテーマに基づいたシンポジウムが行われ、医療法人藤寿会という腎クリニック・伊藤真一院長からは「有床診療所の継承および今後の事業展望」、医療法人松永会まつなが医院・松永尚治院長からは「地域包括ケアシステムに向けての当院の取り組み～医療介護の連携～」、医療法人創黎会阿部クリニック・阿部政則院長からは「有床診療所の終末期医療との関わり～看取りの変遷について～」、日医総合政策研究機構・研究部・江口成美専門部長からは「調査からみた有床診療所の現状と今後について」と題した発表が4名のシンポジストよりそれぞれ行われた。

来年は7月27日～28日、群馬県高崎市において「個性あふれる有床診～今こそ、“かかりつけ医”の活躍を！～」をメインテーマに開催される予定である。多くの皆様にご参加いただきたい。



有床診療所は、今後、地域包括ケアシステムの体制を構築・強化していく中でその機能を存分に発揮していくことが期待されている。

しかしながら、医師の高齢化・後継者不足、職員

の人員費高騰、医療レベルの高度化などにより、有床診療所を取り巻く環境は厳しいが、今後、若い医師が意欲を持って有床診療所の開設ができるような仕組みづくりが重要である。

北海道からも有床診の声を強く発信していきたいと考えているので多くの方々のご理解とご協力をお願い申し上げます。



当会会員は「北海道地区の有床診療所開設者及び当該施設に勤務する医師、又は北海道医師会会員で、本会の目的に賛同する者」となっており、有床・無床の区別なくどなたでもご加入いただけます。是非、下記事務局までお問合せください。

【北海道有床診療所協議会 事務局】

060-8627

札幌市中央区大通西6丁目

北海道医師会事業第二課内 担当：村重

TEL：011-231-1432

FAX：011-252-3233

#### <参 考>

北海道有床診療所協議会会則より一部抜粋

(目 的)

第2条 本会は、北海道地区の有床診療所が基軸となって、他の医療機関等と連携し、より良い医療を目指して研鑽を積みながら、重要な立場として地域医療に貢献することを目的とする。

(会 員)

第4条 会員は北海道地区の有床診療所開設者及び当該施設に勤務する医師、又は北海道医師会会員で、本会の目的に賛同する者とする。